

## (7) 有識者からの意見聴取

(添付様式 10)

事後評価にあたっては、市町村が自ら必要と判断した場合には、任意に外部の有識者から意見を収集・整理することとする。とくに、「効果発現要因の整理」や「今後のまちづくり方策」の検討に外部の有識者が参画していなかった場合には、有識者からの意見聴取を行うことを推奨する。

※この添付様式は、効果発現要因の整理（添付様式5）、今後のまちづくり方策の検討（添付様式6）、まちづくり交付金評価委員会の審議（添付様式9）以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入することとする。

### 添付様式 10 有識者からの意見聴取

- ◆事後評価原案については、必要に応じて有識者から意見を聞き、それらを反映することが望まれる。意見聴取を実施した場合に限り、その結果を記入する。

〔記入例〕 添付様式 10 有識者からの意見聴取

① 意見聴取した有識者名・所属等	② 実施時期	③ 担当部署
△△大学□□助手 (都市計画)	平成22年11月	都市整備課
<p>有識者の意見</p> <p>(原案について)                      ・本事業において積極的に展開された住民参加手法は、本事業に係る合意が形成されただけに留まらず、まち全体において住民のまちづくり意欲を高める効果をもたらしたと言える。                      ・隣の地区の〇〇事業が完成し施設の供用等が開始されれば、互いの相乗効果によりさらなる効果が期待されるはずである。                      ・指標3については、過去(改修以前)の来館者数データから考えて、目標値が少々高すぎたように思う。今回の事後評価をもとに、もっと現実的な数値に変更すべきである。</p> <p>(改善案について)                      1. 隣の地区の〇〇事業が完成し施設の供用等が開始されれば、互いの相乗効果によりさらなる効果が期待される。                      2. 〇〇線の事業の遅れによる交通混雑が懸念されるので、引き続き住民合意形成を急ぎ、事業を早期に完成させることが望ましい。また、観光客対応の駐車場整備も引き続き検討することが望ましい。                      3. 指標3については、過去(改修以前)の来館者数データから考えて、目標値が高すぎたように思われる。今回の事後評価をもとに、現実的な数値に変更すべきである。                      4. 今後のまちづくり方策における改善策は妥当と考えられる。                      5. 本事業において積極的に展開された住民参加手法は、本事業に係る合意が形成されただけに留まらず、まち全体において住民のまちづくり意欲を高める効果をもたらしたと言える。今後とも住民参加を推進することが望ましい。</p>		

④

① 意見聴取した有識者名・所属等

……………「方法書(7) 有識者からの意見聴取」に基づき、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、まちづくり交付金評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者意見を聴取した有識者について、所属・役職と氏名等を記入する。

② 実施時期……………「方法書(7) 有識者からの意見聴取」に基づき、有識者から意見を聴取した時期(年月)を記入する。

③ 担当部署……………「方法書(7) 有識者からの意見聴取」に基づき、有識者からの意見聴取の主体となった担当部署名を記入する。

④ 有識者の意見……………意見聴取により得られた有識者の意見を箇条書きで記入する。

以上までの評価及び整理の結果から主要事項を抜粋し、「評価結果のまとめ」を作成する。

また、「まちづくり交付金の成果及び今後のまちづくり」として、事業の完成状況（完成図や完成写真等）と今後のまちづくりの課題や具体方策、今後の目標等が一覧できる資料を作成する。

### 様式2-1 評価結果のまとめ

#### a. 評価結果のまとめ

- ◆ 評価結果の総括「評価結果のまとめ」として、『成果の評価』【事業の実施状況、都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況、その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況、定量的に表現できない定性的な効果発現状況】と『実施過程の評価』【モニタリング、住民参加プロセス、持続的なまちづくり体制】の評価結果がすべて一覧できる評価結果のシートを作成する。

---

#### 【補足・留意事項】

- ・ 事後評価結果の公表方法の一例を以下に示す。
  - \* 市報等の広報紙への掲載
  - \* 市町村のウェブサイトへの掲載
- ・ また、下記などの手段により、事業の実施についても広く公表することが望ましい。
  - \* 住民説明会・シンポジウム参集による周知
  - \* パンフレット等印刷媒体、看板等による周知

【記入例】 様式2-1 評価結果のまとめ

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	〇〇県	市町村名	△△市	地区名	〇〇町××地区
計画期間	平成〇〇年度～平成△△年度	まちづくり交付金交付期間	平成××年度～平成□□年度		
モニタリング実施時期	平成〇〇年△月～□月	事後評価実施時期	平成〇〇年△月～□月	フォローアップ実施時期	平成××年△月～□月

  

③ 事業の実施状況	当初計画どおり実施した事業	市道××線〇〇交差点改良事業、●●地下道自由通路整備事業、歴史、風土、水ネットワーク事業、□□地区景観形成ワークショップ				
	当初計画から変更した事業(変更した内容)	都市計画道路〇〇線改良事業(延長120m→100m) □□土地区画整理事業(再築戸数:25戸→30戸)				
	変更した理由、目標・数値指標への影響等	都市計画道路〇〇線改良事業:国道への接続箇所の見直しにより延長を短縮(目標・数値指標への影響はなし) □□土地区画整理事業:地区内道路の線形見直しによって支障物件が増加(目標・数値指標への影響はなし)				

  

④ 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況	指標	単位	モニタリング	事後評価	フォローアップ	達成度	達成見込みの有無	効果発現要因
	指標1	観光入込客数	人/年	△	△	●	●	歴史、風土、水ネットワーク事業が観光客の増加に寄与したが、ハード事業との連携による効果が薄かった。
	指標2	居住人口	人	△	△	●	●	整備計画段階からワークショップ等住民参加で整備計画を策定したため、住民の地区に対する愛着が生まれた。
	指標3	■館来館者数	人/年	△	○	●	●	■館改修工事に加え、「○駅橋上駅舎改築事業」等の間接効果により、■館来館者数が増加した。
	指標4	地域コミュニティ形成						整備計画段階から住民参加で整備計画を策定したことが効果の
	指標5							

  

⑤ その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	数値	モニタリング	事後評価	フォローアップ	効果発現要因	
	その他の数値指標1	〇駅の乗降客数	千人/年	1,324	H16	1,523	1,722	●	〇駅橋上駅舎改築事業」と「□□土地区画整理事業」との相乗効果により、予想を上回る乗降客数となった。
	その他の数値指標2	まちづくりワークショップ参加人数	人				100	●	ワークショップの実施により、住民のまちづくりへの当事者意識が
	その他の数値指標3	▲物産館の地場産品売り上げ					20,000	●	

  

⑥ 定量的に表現できない定性的な効果発現状況	本事業の実施に伴い、住民のまちづくりに対する意欲が大きく向上し、協議会を中心として行政との協力関係が強化された。							
------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

  

⑦ 実施過程の評価	評価項目	実施内容	実施状況	今後の対応方針等
	モニタリング	交付期間中(中間期)におけるモニタリングの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 予定どおり実施できた</li> <li>● 予定していなかったが実施した</li> <li>○ 予定したが実施しなかった/できなかった</li> </ul>	今後の事業では、実施頻度を年1回ベースに増やし、毎年度事業の見直しを行っていききたい。
	住民参加プロセス	市民主体の景観形成委員会の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 予定どおり実施できた</li> <li>● 予定していなかったが実施した</li> <li>○ 予定したが実施しなかった/できなかった</li> </ul>	今後も同様の方法で継続していきたい。
	持続的なまちづくり	景観に係るまちづくり活動組織の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 予定どおり実施できた</li> <li>● 予定し</li> <li>○ 予定し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 〇〇〇協議会の維持・継続に注力する</li> <li>● 協議会の中に、××に関する専門家の参画を図る必要がある</li> </ul>

下表を参考に各欄に記入もしくは各添付様式等に記入した内容を該当する欄に転記する。

項目	記入内容	対応する添付様式等
① 都道府県名等	都道府県名、市町村名、地区名、事業期間、まちづくり交付金交付期間	都市再生整備計画
② 事後評価実施時期	モニタリング、事後評価、フォローアップの実施時期	—
③ 事業の実施状況	当初計画どおり実施した事業、当初計画から変更した事業、変更した理由、目標・数値指標への影響等	添付様式1-②、添付様式2
④ 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況	指標、達成度、達成見込みの有無	添付様式3-①
	効果発現要因の総合所見	添付様式5-②、③
⑤ その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標、従前値、指標数値	添付様式3-②
	効果発現要因の総合所見	添付様式5-②、③
⑥ 定量的に表現できない定性的な効果発現状況	定量的に表現できない定性的な効果発現状況	添付様式3-参考記述
⑦ 実施過程の評価	実施内容、実施状況、今後の対応方針等	添付様式4-①～③

※本様式は公表を前提とし、市民にわかりやすく作成すること

## 様式2-2 まちづくり交付金の成果及び今後のまちづくり

### b. まちづくり交付金の成果及び今後のまちづくり

- ◆評価結果の総括「まちづくり交付金の成果及び今後のまちづくり」として、事業の完成状況（完成図や完成写真等）と今後のまちづくりの課題や具体方策、今後の目標等が一覧できる資料を作成する。